

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年8月4日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	愛知県大府市	代表者名	岡村 秀人
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0562-45-6253
担当者役職	主任	担当者氏名	盛林 達哉
住所	474-8701 愛知県大府市中央町五丁目70番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	浦田 真由
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講演の内容について問題なく確定できたこと。講演の内容だけでなく、データ利活用について、いろいろな切り口で話をうかがえたこと。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月19日	11時00分	12時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)</p> <p>オープンデータを公開していますが、更新がされていなかったり、利用実績が伸びないなどの課題があります。また、各システム等が保有しているデータについても、政策立案への活用が十分にされていません。これらの状況を踏まえ、「地方公共団体におけるデータ利活用ガイドブック」を参考に、データの利活用全般について見直しを行いたいと考えていますが、専門知識を持った職員や関係者がいないため、効果的な見直しの検討ができていません。</p> <p>支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> データ利活用についての職員意識の醸成 データ分析及びオープンデータの手順や方法についての理解の促進 <p>アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講演の事前調整 講演の内容の調整 当日の進行方法の確認 オンライン会議ツール、資料共有方法等の確認 <p>支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)</p> <p>講演内容の確定</p> <p>具体的な成果物</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)</p> <p>特になし</p> <p>アンケートの内容と分析結果</p> <p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前調整のためなし</p> <p>5-3. 今後の計画</p> <p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある</p> <p>事業の最終的な目指す姿</p> <p>オープンデータカタログページが公開されており、データが継続的に更新されていること。</p>	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

